

平成30年度 上田市立丸子北小学校 職員の学校自己評価〈2学期の方向〉

1 結果

〈集計の仕方〉

※ A:十分達成→5点 B:おおむね達成→3点 C:やや不十分→1点 D:不十分→0点 とし、合計点を全員がA(5点)をつけた場合の何%にあたるかを達成度とした(人数は、項目により異なる)。

$$(A \times \text{人数}) + (B \times \text{人数}) + (C \times \text{人数}) + (D \times \text{人数}) = \text{合計点} \quad \text{合計点} \div (5 \times \text{合計人数}) \times 100 = \text{達成度}$$

	評価の観点	29年 7月	29年 12月	30年 7月	成果(○) や 課題(◇) ・ 改善策(◆)
学校目標を具現するための指導体制の確立と実践	①3つの重点目標の具現に向けて、職員が共通認識をもち、連学年、学年、クラスで取り組んでいるか。	62	66	58	○清掃で、黙って集中する姿が見られるようになってきた。 ○下校時、学年集会をとって意識づけをしている。 ◇全校が一丸となつての取り組みになっていないように思う。 ◇共通意識はどこまでされているのか不安感がある。 ◇学年で統一した方がよい面がある。 ◆再度、全職員で読み合わせを行い、共通認識をもつ。 ◆各自で学級経営案を見返し、具体目標を設定する。 ◆各学年会で、学年としての具体的な取り組みを検討する。
	②児童は、返事や発言の仕方、聴く態度が身についているか。	46	50	45	○個人差はあるが、子どもたちなりに頑張っている。 ○発言時には「声のものさし」を使い、聴くときは態度のいい児童を褒め、常に意識するようにした。 ○話し手に体を向け、最後まで聴くことを、常に声掛けしている。 ○だんだん聴けるようになっていっているので、積み重ねていくとよい。 ○意識づけはできている。今後も個別に見守っていきたい。 ◇返事や発言の声が小さい。相手意識をもたせたい。 ◇話をしている人の方を向けなかったり、しゃべったりしてしまう児童が多い。 ◇姿勢がすぐに崩れてしまう(肘つき、イスをシーソー)。 ◇聞く姿勢ができるような話し方と指導に努めていきたい。 ◇姿勢が崩れないよう、筋力をつけることも大切か。 ◆「丸子北小スタンダード」を進める。 「グー」「ペタ」など、常に確認しながら、意識化を図る。
	③児童は、進んで考え、自分なりに表現しようとしているか。	48	60	50	○個人差はあるが、子どもたちなりに頑張っている。 ○「名札マグネット」を使って黒板に貼り、立場を決め明確に意見が言えるようにしている。 ○線分図や関係図を書き、式の説明を書くことを繰り返している。 ◇受動的な児童が多いため、教師側の場の設定次第であるので、さらに改善していきたい。 ◇発表する児童は決まってきた。慌てなくても、分かったら先ずは手を挙げるよう指導していきたい。 ◆「丸子北小スタンダード」を進める。 ◆特定の児童に発言が偏らないように、ペアやグループ内での発表の時間を確保する。
	④児童は、自分から挨拶ができているか。	49	42	50	○モデルを決めて挨拶の練習をし、気持ちよい挨拶が実感として分かるようにしている。 ○昨年よりもよくなってきている気がする。 ◇ありがたいも含め、自然な挨拶ができていくようにしていきたい。 ◇挨拶できる児童は多いが、自分から先にできる児童は少ない。 ◇全体そろつての挨拶はよいが、個々の場面では不十分。 ◇年々、朝挨拶を交わせる児童が減ってきている。 ◇職員間でも、もっと元気に挨拶をするようにしたい。 ◆「北小っ子ルール」「ハイ！」の指導・徹底 ◆学級・学年で話題にして目標をもって取り組んだり、定期的に見返す場を設定したりする。 ◆教師間の挨拶も含め、教師自身が進んで気持ちのよい挨拶をするように心掛けていく。
	⑤児童の清掃は、低「自分のやることをしっかり」中「自分から気づいて動く」高「責任をもち、そうじ場所と自分の心を振り返る」はできているか。	44	46	49	○「気づき清掃」のできる児童が増えてきた。 ○3年は、学年全体で取り組めてよかった。 ○清掃分担での役割をしっかりと伝え、よさを褒めている。 ◇「気づいて」「自分の心を振り返る」まではしていない。 ◇無言清掃ができると、さらによい。

					<p>◇分担場所と分担児童数が適正か。掃除(特にぞうきんがけ)を避けようということを感じる。</p> <p>◇子どもたちは頑張っていると思うが、「黙ってやる」とか、「隅々までやる」等、視点をもって取り組めるとよい。</p> <p>◆「北小っ子ルール」「ピカピカ！」の指導・徹底</p> <p>◆学年の実態に応じて、具体的に目標を決め出し、学年集会などで意識を高めたり、振り返りを行ったりする。</p> <p>◆全校集会を開くなどして、全校の意識を高める。</p>
基礎的な学力の定着と自己表現の育成	⑥重点研究は、具体的な子どもの姿にもとづき、自己課題を意識した研究になっているか。	66	73	64	<p>○速読や要約練習を行い、読解力の向上に努めている。</p> <p>○ドリルやチャレンジ問題を授業始めの10分にやっている。</p> <p>◇研究の足並みがそろわないのが残念。</p> <p>◆重点研究会で研究の方向を再度確認し、日々の実践を積み重ねながら情報を共有し合う(一人一公開)。</p>
	⑦子ども自身が今持っている力で考え、行動し、「自分の力でできた」と実感できる授業づくりをしているか。	49	62	43	<p>○子どもたちとしっかり作ることができた。</p> <p>○自分でやる場面を設定し、やり方を褒めている。</p> <p>○ノートの下に授業後の感想を書くようにしている。</p> <p>○一人ひとりが考える時間を取り、自分の考えをもつことを意識させている。</p> <p>○「できた」を大切にしているが、失敗や誤りに敏感な子はそうならないので、「できた」を大切にしている。</p> <p>◇学力的に、一斉指導についてこれない児童に十分な対応ができなかった。</p> <p>◇子どもたちがもっている力を引き出し切れているのか、常に自己反省の日々。</p> <p>◇机上の学習を生活に生かす活動を取り入れていきたい。</p> <p>◆「丸北小スタンダード」を進める。</p> <p>◆児童の実態に合った課題を設定すると共に、毎時間「振り返りの時間」を確保して、自己評価を行う。</p> <p>→個々の学びや伸びを認め、励ます・</p>
	⑧学習問題を黒板に提示し、ねらいを明確にした「わかる授業」を行っているか。	58	67	52	<p>○「学習問題シート」を利用し、授業を行うようにしている。</p> <p>○学習の流れを板書したり、学習問題を提示したりして、見通しをもって追究できるようにしている。</p> <p>◇教科によって、不十分などところがある。</p> <p>◆個別指導の時間を確保する。</p> <p>◆授業の流れを確認する際に、きちんと板書して確認する。</p> <p>◆授業1時間1時間の構想をもう一度しっかり行う。</p>
	⑨一斉指導・グループ学習・個別指導、PCなどでメリハリのある授業を展開しているか。	56	60	58	<p>○最大限の努力はできている。ICTを活用し、意見交流等した。</p> <p>○隣同士の学習カードの見合い、読み合い学習を進めている。</p> <p>○学年で取り組める内容のときは、個別ではなく関われる場を作っている(なかよし)。</p> <p>◇低学年でも、場面を見極めてグループ活動等を取り入れたい。</p> <p>◇グループ学習を取り入れていないクラスがあり、気になります。</p> <p>◆「丸北小スタンダード授業編」の徹底。</p> <p>◆ICT機器を活用して視覚に訴えるなど、各教科で工夫する。</p>
	⑩学習内容を定着させるために、授業の終末で「見とどけ」をしっかり行っているか	47	51	48	<p>○終末時にノートに授業の感想を書き、どんなことを身に付けたのかを点検・確認している。</p> <p>○まとめをそれぞれ行い、学習したことが分かるようにしている。</p> <p>○本時で分かったことをまとめる時間をとることを心掛けてきた。</p> <p>◇今年度、見とどけの時間をとれずに終わってしまう授業が多い。</p> <p>◇つける力だけでなく、自他の学びの姿を振り返る場もほしいが、なかなかゆとりがない。</p> <p>◇学力向上・自己評価委員会でもしっかり扱いたい。</p> <p>◇数名に指名して発表させたり、良いまとめ方を紹介したりして、全体の意識を高めたい。</p> <p>◆「見とどけ」の時間を毎時間確保できるよう、「丸子北小スタンダード」を意識して授業に取り組む。</p> <p>◆よい「振り返り」や「まとめ方」を紹介して、学級全体の意識を高める。</p> <p>◆「見とどけ」を分析して、次時の授業づくりに生かす。</p>

	⑪授業につながる宿題を工夫し、保護者と協力しながら学年に応じた指導をしているか。	58	60	60	<p>○音読カードを使用し、保護者に確認をしてもらっている。</p> <p>○ニーズに合わせて宿題を3通り出したり、児童により宿題を変えたりして工夫している。</p> <p>◇家庭で手が入らない児童がいる。</p> <p>◇「算数」の基礎学力を強化する必要を実感している。</p> <p>◆児童の実態を丁寧に把握し、課題に合った内容の宿題を出す。</p> <p>◆「つむぐの活用」について、意見交流の場を設定するなど、全職員で共通意識をもち、積極的に活用しながら、家庭と連携して根気よく取り組んでいく。</p>
よりよい人間関係づくり	⑫子どもが楽しく登校できるように、一人ひとりに声掛けしたり、家庭と連携をとったりしながら、一人ひとりに居場所がある学級づくりを行っているか。	62	65	68	<p>○誕生日に、牛乳で乾杯し、所属感を強めている。</p> <p>○誰とでも関わられる活動を取り入れた「道徳」や「英語」の授業を行うようにしている。</p> <p>○連絡帳のやり取りをし、学校での様子を伝えている。</p> <p>○できるだけ名前を覚え、作品の感想やよい姿を「よかった」と伝えるようにしてる。</p> <p>○サポートをできる限りしています。家庭と担任の先生との連携を、今後も頑張ります。</p> <p>◇先ずは、職員間の挨拶を活性化したい。</p> <p>◆「つむぐ」を活用して、家庭と連携を図る。</p> <p>◆全職員で情報を共有しながら、連携して取り組む。</p> <p>◆子どもの見取りをしっかりと行えるように、日々の児童理解に努める。</p>
教育相談	⑬保護者や子どもからの相談に対して、適切な対応ができているか。	65	63	62	<p>○気になる児童に、定期的に懇談を取っている。</p> <p>○保護者や児童の話をよく聴くように心掛けている。</p> <p>○支援会議など、定期的に行われている。</p> <p>○子どもの気になる発言に対しても敏感であるように努め、本人の納得を大事にした対応を心掛けている。</p> <p>◇自分自身が思いを受け止められているか心配。</p> <p>◆今後も、保護者や子どもたちの声にしっかりと耳を傾け、誠心誠意対応していく。</p>
情報発信	⑭学校は、日頃の学校教育の理解や信頼を得るために、学校便り・学年便り・ホームページ等で伝えているか。	75	76	73	<p>○学年便りは週1、年間40号を目指している。</p> <p>○学級だよりを定期的に配付し、子どもの様子を伝えた。</p> <p>◇学級だよりを作る時間がなく、なかなか出すことができない。学級事務ができる時間を確保してほしい。</p> <p>◇学級の活動もHPに載せられるように努力したい。</p> <p>◆会議等を精選し、学級事務の時間を確保する。</p>
安全安心対策	⑮学校は、下校指導や、安全点検等を行い、事故防止や安全指導ができていますか。	68	73	68	<p>○下校時の学年グループ下校で、安全に関わる声掛けをしている。</p> <p>○必要に応じて、担任もグループと一緒に歩いている。</p> <p>○朝の交通当番など、細かに行われていると思う。</p> <p>○児童のケガ(6月)を通じて、職員間で意思統一をしたことにより、安全への意識が高まった。「ほうれんそう」も徹底されてきている。</p> <p>◇学級や学年によって、安全への意識の差が大きい(特に休み時間の遊び方や登下校時の歩き方)。</p> <p>◆休み時間の安全な遊び方等、共通意識をもち、学校全体で指導に当たる。</p> <p>◆学年集会を行い、意識化を図る。</p> <p>◆特に、首から上のケガについては、すぐに養護教諭や校長(教頭)、家庭に報告し、迅速に対応する。</p>
非違行為防止	⑯非違行為防止に努めているか。	88	90	91	<p>○深呼吸してから、指導や声掛けをするように努めている。</p> <p>○職員会で「チェックシート」を活用して日々の振り返りをするなどして、意識して取り組むことができた。</p> <p>◆今後も、職員の同僚性や関係性を高めながら、非違行為防止に向けて取り組んで行く。</p>